

花見川公民館だより

2026年
2月号



千葉市花見川公民館 千葉市花見川区柏井町 1590-8

公民館 QR コード→

電話 043-257-2756

<https://chiba-kominkan.jp/hanamigawa/hanamigawa>

癒し【いやし】のある公民館でありたい



👉 季節感のあるディスプレイでお出迎え。ハッピーバレンタイン！

👉 公民館の庭の木の根っこを使ったアート



👉 熱帯魚にも癒されます



どなたでもふらりと、気軽にお立ち寄りください!!



花見川公民館の情報をもっと身近に！

Xで講座やイベントの最新情報を発信中です。フォローすれば、開催のお知らせや写真、急なお知らせもすぐにチェックできます。QRコードから簡単にアクセスできますので、ぜひチェックしフォローしてみてください。

公式アカウントのQRコードはこちらから➡



～12月・1月 主催講座の記録から～

◇ 花見川 冬のめくもいコンサート

12/7(日) 今年度初の音楽イベントでしたが、予想以上の申込みがあり、大人気となりました。出演は当館定期利用団体「花見川コーラスわたげ」の講師も務めている声楽家、江籠沙織さんです。有志による飾り付けにより、会場はクリスマスムード一色となりました。コンサートが始まると、繊細かつ迫力もあるソプラノの歌声に魅了されて、皆、聞き惚れていました。曲の背景や発声法の解説、一緒に歌うコーナーもあり、会場は笑顔に包まれました。後半はクリスマス曲が続き、会場は最高潮に盛り上がり、終了後は「ブラボー！」の声と拍手が鳴りやみませんでした。感謝の花束贈呈後、アンコール曲でコンサートは幕を閉じました。「涙が出た」「冥途の土産になった」など感動の声が続出し、魂を揺さぶられるような歌声と相まって職員も涙するほどでした。公民館職員として、これ以上ない喜びを感じる一日でした。

◇ ミニ門松づくり体験教室

12/21(日) 講座はアルミ缶を土台にして藁を並べ、縄でしばる作業から始まりました。縄を結び、藁を編み上げる作業は難しいものでしたが、受講者は講師や支援者の助けを借りながら楽しそうに挑戦していました。少しずつ形が整うにつれ笑顔が広がり、完成した門松を手にしたときには満足げな表情で講師に感謝の言葉を述べていました。ものづくりの楽しさを存分に味わえる講座となりました。

◇ 歴史講座「千葉氏の発展と衰亡・千葉氏を彩った人たち」

1/14(水)・1/21(水)・1/28(水) 本講座は3回連続の講座で、1回目は上総千葉氏の成立から佐倉千葉氏の衰退までの歩み、2回目は千葉常胤以降の「千葉介」家の系譜の移り変わり、3回目では千葉常秀を中心とした魅力的な人物像についても取り上げ、たいへんボリュームのある内容でした。受講者からは「それぞれの人物に物語があっておもしろかった」「千葉市の歴史をよく知らなかったが理解できた」などの声が寄せられ、地域の歴史への興味を広げ、学びを深めるよい機会となりました。

◇ 国際交流イベント「キューバ料理体験教室」

1/17(土) 本講座は初開催ながら定員(16名)の約2倍の応募があり、特に40～50代の世代の方の関心の高さがうかがえました。講座実施の数日前から、講座参加者以外の方にもキューバについて関心を高めたり理解を深めたりしてもらえるよう、ロビーに「キューバについて知ろう」のコーナー(地図・国旗・言語など紹介)を設置しました。当日は家庭料理づくり、スライドによる紹介、音楽・ダンス体験など、多面的にキューバ文化を学べる内容となり、受講者にも大変好評でした。当初は近隣の中南米出身者との交流も目指しましたが、参加がなく残念だったものの、企画展示も含め異文化の理解という点で成果が感じられました。

◇ 1月第5週花見川名画鑑賞会「ホーム・スイートホーム」

1/30(金) 「ホーム・スイートホーム」は、認知症の親を支える家族の姿が温かく描かれた作品です。家族の絆や思いやりの大切さに自然と心を寄せるきっかけとなり、「胸にしみた」「家族のことを改めて考えることができた」など多くの好意的な声が寄せられ、参加者が日常にある支え合いの価値を見つめ直す、穏やかで充実した時間となっていました。